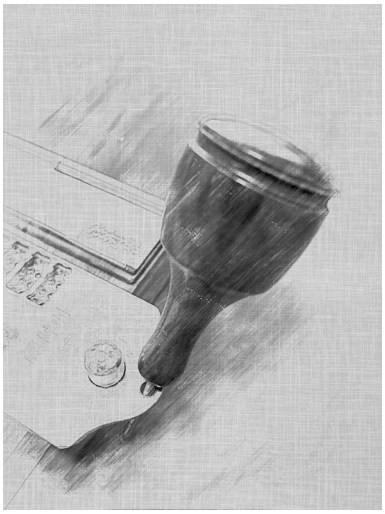
点字学習指導の手引

（令和５年　改訂版）



令和５年

文部科学省

ま　え　が　き

我が国の近代的な視覚障害教育は、百四十年以上の歴史をもっている。なかでも明治 23 年にルイ・ブライユの点字が日本語に翻案され、明治 34 年に官報に「日本訓盲点字」として公表された点字が、特別支援学校（視覚障害）の充実・発展に果たしてきた役割は、極めて大きいものがある。点字は点字で学習する子供たちの基礎・基本であり、その習得は第一に考えられなければならないことである。

このような観点から文部科学省では、特別支援学校（視覚障害）における点字指導の充実を図るために昭和 50 年に「点字学習指導の手引」を刊行し、平成 7 年、平成 15 年にその改訂版を刊行した。

その後、Society5.0 の到来により、我が国は、これまでにない新たな価値の創造と展開が可能な時代を迎えている。

教育においては急速に変化する社会状況の中で、新しい時代を担う子供たちが変化を前向きに受け止め、これからの社会の創り手となるに必要な資質・能力を育むことを目指すことができるよう、学習指導要領の改訂を行うとともに GIGA スクール構想*[1]などを推進しているところである。

また、共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システム*[2]の理念を構築するため、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境を整備することなど一層推進している。

このような中、特別支援学校の教師を目指す学生のみならず、小学校等の教師を目指す学生全てにおいて、特別支援教育に関する学びは重要であることから、教員養成の質保証を実現するために、「特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム*[3]」を新たに策定した。その中で、視覚障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえ、子供たちが効率的に学習に取り組むため、使用する文字を系統的に習得することができるよう指導を工夫することなどを示した。

今後、教師の資質能力、ひいては我が国の学校における特別支援教育の質の向上に寄与するものと期待したい。

一方、点字の表記についても様々な検討が加えられ、その統一と体系化が図られてきた。また、点字学習指導の方法についても実践的な研究が積み重ねられてきている。

そこで、このような点字を取り巻く状況の変化を踏まえて、点字で学習する子供たちの特性に応じた文字の系統的な指導を適切に行うようにするために先の「点字学習指導の手引（平成 15 年改訂版）」の改訂新版として本書を作成することにした。

視覚障害教育に携わる方々が本書を十分に活用し、更に創意工夫を加えた指導を行うことによって特別支援学校（視覚障害）における点字指導の一層の充実・発展が図られることを願ってやまない。

本書の作成に当たっては、別記の方々の御協力をいただいた。ここに心から感謝と敬意を表する次第である。

令和５年９月

文部科学省　初等中等教育局特別支援教育課長
石　田　善　顕

編集協力者氏名（五十音順）

青　柳　まゆみ　　愛知教育大学准教授

阿　部　真由美　　宮城県立視覚支援学校教諭

加　藤　俊　和　　元京都ライトハウス情報ステーション所長

坂　井　仁　美　　全国高等学校長協会入試点訳事業部

柴　田　直　人　　筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

進　　和　枝　　筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

長　岡　英　司　　日本点字図書館理事長

平　松　智　子　　和歌山県立和歌山盲学校教諭

福　井　哲　也　　日本ライトハウス点字情報技術センター情報技術顧問

牟田口　辰　己　　元広島大学教授

山　岸　直　人　　東京都立文京盲学校校長

なお、本書の企画と編集については、初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官　森田　浩司が担当し、次の者が企画に参加した。

石　田　善　顕　　初等中等教育局特別支援教育課長
嶋　田　孝　次　　初等中等教育局特別支援教育課課長補佐
山　田　知佳子　　初等中等教育局特別支援教育課指導係長

目　　次

第１編

第１章　「点字学習指導」の位置付け　……　1
　第１節　点字学習指導の意義　……　1
　　1　点字学習の意義　……　1
　　2　点字の機能と言語活動　……　1
　　3　点字の学習と言語能力　……　2
　　4　点字と墨字との共通性　……　3
　第２節　教育課程と点字学習指導　……　4
　　1　教育課程と点字学習指導計画　……　4
　　2　幼児期における点字学習指導　……　5
　　3　小学部・中学部・高等部における点字学習指導　……　6
　　4　中途視覚障害者の点字学習指導　……　7
　　5　重複障害児の点字学習指導　……　8
　　6　指導方法の弾力的な取扱いと指導事例の蓄積・共有　……　9

第２章　点字の読み書きの学習　……　10
　第１節　点字学習のレディネスと動機付け　……　10
　　1　自発的な探索及び触運動の統制と触空間の形成　……　11
　　2　事物の弁別、形の弁別、位置（空間軸）の学習　……　13
　　3　音声言語の分解・構成の学習　……　15
　　4　象徴機能の学習と点字学習への動機付け　……　17
　第２節　点字の読み書き学習の概要　……　19
　　1　入門期における点字の読み書きの学習　……　20
　　2　単語の意味や文の構造と点字表記法の学習　……　23
　第３節　点字学習指導の計画と評価　……　26
　　1　点字学習のアセスメント　……　26
　　2　指導計画作成上の配慮　……　27
　　3　点字の読み書きの評価　……　30
　　4　点字学習の場と教材作成上の配慮　……　33

第３章　点字学習の基礎 …… 36
第１節　初期的な手の運動の学習 …… 36
１　能動的な探索と触察 …… 37
２　手指の運動の分化と触運動の統制 …… 38
３　触空間の形成 …… 46
第２節　触覚による弁別学習 …… 49
１　身辺の事物の弁別 …… 49
２　属性の弁別 …… 51
第３節　図形の弁別、分解・構成の学習 …… 55
１　図形弁別の基礎 …… 55
２　図形の弁別 …… 59
３　基本的な相似図形の大きさの弁別 …… 62
４　図形の分解・構成 …… 64
第４節　点の位置付けと６点の弁別 …… 66
１　点の定位 …… 67
２　６点の弁別 …… 72
第５節　点字学習の基礎としての話し言葉の学習 …… 74
１　話し言葉の要素の分解・構成 …… 74
２　音による単語の分解・構成 …… 76
第６節　象徴機能の学習と点字学習への動機付け …… 78
１　象徴機能の学習 …… 78
２　マークから点字への置き換え …… 80
３　点字カードでの遊び …… 81

第４章　触読の学習の実際 …… 84
第１節　両手読みの動作の習得 …… 85
１　両手読みの動作習得の意義 …… 85
２　両手読みの動作習得についての留意事項 …… 86
３　両手読みの動作習得のための題材例 …… 87
第２節　点字の枠組み（行・マス）の意識化 …… 90
１　触読の特性と点字の枠組み …… 90
２　点字の枠組みを意識化するための題材例 …… 91
第３節　単位となる一マス６点の弁別 …… 99

1　６点の弁別のための指導方法や工夫　…… 99
2　単位となる一マス６点の弁別のための題材例　……100
第４節　点字の形と字音の結び付け　……108
1　点字の形と字音を結び付ける意義　……108
2　点字の形と字音を結び付けるための題材例　……109
第５節　マスあけ（分かち書き・切れ続き）の基礎的な理解　……117
1　触読導入の学習の最終段階にあたって　……117
2　マスあけの基礎的な理解のための題材例　……118
3　触読の学習のための学習環境　……122

第５章　書きの学習の実際　……123
第１節　点字タイプライターによる書きの学習　……124
1　点字タイプライターの使い方の学習　……124
2　点字タイプライターによる書き方の基本練習　……127
第２節　点字盤・携帯用点字器による書きの学習　……129
1　点字盤・携帯用点字器による学習の意義　……129
2　点字盤の構造と種類　……130
3　携帯用点字器の構造と種類　……130
4　点字用紙や点消し棒、一点打ち校正器について　……131
5　点字盤・携帯用点字器の使い方の学習　……131
6　点字盤・携帯用点字器による書き方の基本練習　……136
第３節　字音と点字を結び付けて、語を書き表す学習　……137
第４節　分かち書きと切れ続きの学習　……142
第５節　文の構成と表記符号の学習　……143

第６章　点字表記法の体系的学習　……146
第１節　語の書き表し方の学習　……147
1　基本的な仮名遣い　……147
2　その他の仮名遣い　……150
3　数字やアルファベットなどを用いた語の書き表し方　……151
第２節　分かち書きの学習　……156
1　分かち書き　……157
2　自立語内部の切れ続き　……160

3　固有名詞内部の切れ続き　……164
第３節　表記符号の用法などの学習　……165
1　句読法の用法　……165
2　囲み符号の用法　……168
3　関係符号の用法　……171
4　伏せ字とマーク類　……174
5　表記符号間の優先順位など　……176
6　点字仮名体系における数学・理科・外国語点字記号等　……178
7　行替え、行移し、見出し、箇条書きなどの書き表し方　……180
第４節　文の種類による書き方の学習　……185
1　作文一般　……185
2　詩　……186
3　短歌・俳句など　……187
4　脚本　……188
5　手紙　……190
6　日記類　……191
7　ノート類　……192
第５節　その他の書き方　……193
1　本文以外の書き方　……193
2　略記法　……193
第６節　試験問題と解答の書き方　……194
1　試験問題の書き方　……194
2　文章中における記号などの用い方　……195
3　点字試験問題作成上の配慮事項　……196
4　答案の書き方　……197

第７章　図形触読の学習　……199
第１節　触図の基本事項　……199
1　触図は見る図とまったく異なる情報　……199
2　触図に必要な触察の基本　……201
第２節　教材としての触図製作と触図の読み方　……204
1　文章化などの処理　……205
2　触図製作の手順　……205

3　触図の学習 …… 213
4　立体の扱いと見取り図の処理 …… 215
5　触図教材の製作 …… 220
第３節　各種グラフの表し方と読み方 …… 222
1　グラフの種類と視覚・触覚特性 …… 222
2　グラフの工夫 …… 224
第４節　表の表し方と読み方 …… 226
1　点字の表とその構成 …… 227
2　点字の表中のレイアウト …… 228
3　点字の表の読み方 …… 230

第８章　教科学習における指導上の配慮 …… 235
第１節　国語科における配慮事項 …… 236
1　小学部低学年における配慮事項 …… 236
2　小学部中学年における配慮事項 …… 240
3　小学部高学年における配慮事項 …… 242
4　中学部・高等部における配慮事項 …… 244
5　準ずる教育課程での学習を行っていない児童生徒への配慮事項 …… 247
第２節　社会科における配慮事項 …… 250
1　点字教科書の概要と指導上の配慮事項 …… 250
2　地図の指導における配慮事項 …… 252
第３節　算数・数学科における配慮事項 …… 256
1　算数の点字記号の概要と指導 …… 257
2　数学の点字記号の構成と指導 …… 259
3　算数・数学における点字学習上の配慮事項 …… 260
4　触察の基礎となる教材 …… 262
5　算数・数学における図表の扱い …… 262
6　筆算と珠算・そろばん …… 264
第４節　理科における配慮事項 …… 266
1　理科の点字表記の概要 …… 266
2　理科における触図の扱い …… 271
3　指導上の配慮事項 …… 282

第５節　英語科における配慮事項 ･････････････････････････････285
１　英語の点字表記の概要 ･････････････････････････････････285
２　指導上の配慮事項 ･････････････････････････････････････308
第６節　点字楽譜指導における配慮事項 ･････････････････････312
１　点字楽譜の特徴と五線譜との基本的な違い ･････････････312
２　点字楽譜の表し方と指導上の留意点 ･････････････････････315
３　点字楽譜に必要なレイアウトの工夫 ･････････････････････322
４　点字楽譜による音楽指導の配慮事項 ･････････････････････325
５　点字楽譜の諸記号について ･････････････････････････････326
第７節　情報処理用点字の指導 ･････････････････････････････328
１　情報処理用点字の使用範囲 ･････････････････････････････328
２　情報処理用点字の概要 ･････････････････････････････････328
３　使用上の留意事項 ･････････････････････････････････････330

第９章　中途視覚障害者への点字学習指導 ･････････････････････333
第１節　中途視覚障害者への点字学習指導の工夫と配慮 ･････････333
第２節　中途視覚障害者への点字学習指導の方法 ･････････････334
１　中途視覚障害者の触読学習 ･････････････････････････････335
２　中途視覚障害者への点字の書き方の指導 ･････････････････339
３　中途視覚障害者の電子機器利用への導入 ･････････････････343

第 10 章　点字使用者の漢字仮名交じり文体系の学習 ･････････････344
第１節　漢字や仮名文字について学習する意義 ･････････････････344
第２節　墨字と点字それぞれの表記の特徴 ･････････････････････345
１　墨字表記の特徴 ･････････････････････････････････････345
２　点字表記の特徴 ･････････････････････････････････････347
第３節　墨字についての学習内容と方法 ･････････････････････348
１　仮名文字学習の内容と方法 ･････････････････････････････348
２　漢字学習の内容と方法 ･････････････････････････････････350
３　数字とアルファベットの学習内容と方法 ･････････････････353
第４節　墨字文書作成のための学習 ･････････････････････････354
１　仮名遣いに関する学習 ･････････････････････････････････355
２　漢字の使い分けに関する学習 ･･････････････････････････356

3　句読法に関する学習 ……357
4　書き方の形式に関する学習 ……358

第 11 章　点字使用環境の電子化に関連する指導 ……360
第１節　電子化の概要 ……360
1　点字の電子データ化 ……360
2　点字データを読み書きする手段 ……361
3　点字データの有用性 ……364
第２節　点字データの読み書きに関する指導 ……365
1　機器に関する指導 ……366
2　ソフトウェアに関する指導 ……368
3　読み書きの基本操作に関する指導 ……370
4　点字データの処理に関する指導 ……371
第３節　点字を介しての墨字の閲覧に関する指導 ……373
1　点字への一括変換 ……374
2　点字へのリアルタイム変換 ……375

第２編　資料

用語解説 ……378